



大手前の改革

校長 亀井 哲夫

改革がスタートして今年度で5年目になります。21世紀を見据えた付加価値をコース教育のなかで追求するとともに、やはり名門の中核は高い学力と進学実績にあるということで、受験体制を強化してまいりました。

大手前中高の場合、生徒、保護者のニーズが多様化していますが、それぞれの満足度を高めるべく努力するべきだと思っています。

イギリスの名車ジャガーは、ドイツ・アメリカそして日本の

大企業との競争に於て、小規模な会社ながらジャガーらしさを損なうことなく頑張っています。

伝統は守ることで守れない、革新を続けることによってこそ伝統は守れるのだと、ジャガーはしています。

小規模な大手前中高も、「追手門らしさ」を失うことなく改革を進めたいと考えています。

演劇部を高3の5月までとことんやっていた生徒が早慶上智に合格しました。教職員も頑張っています。

スキー部クラブ活動報告 顧問 菅家靖史 田中佳哉

今シーズンは、大阪府の代表としてクロスカントリー競技で2名の選手が選考され、インターハイ、国体に出場することができました。まだ高校1年生ということもあり、全国の選手とはかなりの実力差はありましたが健闘してくれ、次年度につながる滑りになりました。また、国体では、リレー種目にも出場することができ、それぞれ第1、第3

走者としての大役を果たしました。

全中では、はじめての全国大会に出場ということもあり、緊張感の中でなかなか自分の持っている力をすべて発揮するということができませんでした。新たな課題も見つかると、素晴らしい経験になりました。

ご声援いただき、誠にありがとうございました。



大都会のまっ直中の掲示。その反響は早く次の日から、入学希望者や卒業生から、激励や感激の便りが届いています。

第53回全国高等学校スキー大会

《出場》(クロスカントリー競技)

青戸 健次(高校1年2組)

藤井 栄治(高校1年3組)

藤木 宏昭(高校1年2組)

日時 平成16年2月6日(金)~10日(火)

場所 北海道旭川市富沢クロスカントリーコース

第41回全国中学校大会スキー競技大会

《出場》(クロスカントリー競技)

川崎 陽史(中学2年3組)

日時 平成16年2月3日(火)~6日(金)

場所 新潟県妙高高原町池の平温泉スキー場

第59回国民体育大会冬季大会スキー競技会

《出場》(クロスカントリー競技)

青戸 健次(高校1年2組)

藤井 栄治(高校1年3組)

日時 平成16年2月21日(土)~24日(火)

場所 山形県最上郡真室川町

学校祭作成「折り鶴(校章)」

2002年度の学校祭において作成した折り鶴(校章)を校友会である山桜会ならびにPTAから額を寄贈して頂き、職員室横(第5階段1階)に永久保存する運びとなりました。その完成を祝し、1月28日に学院長をはじめ山桜会会長、PTA会長など多数ご関係者のご臨席のもと除幕式を行いました。除幕の際には、全員で校歌を斉唱し、和やかな雰囲気の中で終わることが出来ました。この折鶴は、その時の学校祭のテーマ「絆」を表現したもので、生徒1人1人が気持ちを込めて折ったものです。約1万1000羽の鶴から出来ており、追手門学院の「絆」の象徴として今後も保存されることに嬉しく思います。

